

全学友の支持を！ 派同学民議統一

中執送争を
終えるにあたって

全市大の学友諸君！

「燃え広がり戸戦の炎、起ち上れ大学自治擁護のため」、市大自治会の大衆的、民主的再生を「スローガン」のもと、今送争に立候補したければ7日間の送争戦を闘ってきた。

ベトナム戦争に大きな歴史的転機が訪れ、侵略加担者、近藤四郎もまた深刻な動揺の中にある今、侵略者と侵略加担者追撃の斗いをいかに形成し、この斗いを安保放棄斗争へと継続・発展させるのみ。他方で、大学自治への攻撃が強まっており、教員と学生の統一しに斗いな望請されている現在、焦眉の課題にむけてのわれわれの主体的組織たる市大自治会の大衆的基盤強化の諸政策こそが今送争の基本的論点であった。とりわけ、昨秋の和田斗争以後、市民の学生運動への関心も強まっている今、総じて「学生運動のあり方」こそが今送争の第一の争点でなければならなかったのである。

ヘルメット、根棒戦術を拒否するのみなろく、教員・学生連帯のもとに大学自治を守るのみ、教員を敵視し学生のみを単独行動に訴えるのみ、自治会での暴力を容認するのみなろく、ななる今送争の第一義的争点についてわれわれは、われわれの全政策を提示しえたに確信している。

市大自治会の大衆的、民主的再生を力ちとり、市大自治会を「4」市大自治会連立への途、11月自治会共闘結成ではなく、真の学生戦線統一にむけての団体たらしめること——にこそ市大全学友の進むべき道があると思われる。考えている。

△全学友の支持を期待する。

全学友は
左へ名前！
なり

＝学部区＝

＝全学区＝

議統一
派同学民